

信 毎 歌 壇

小島 なお選

遠き日の「雪が解ければ何になる」「春です」の
友 春待たず逝く (箕輪町) 向山 政俊
青空へパシヤマも干して冬仕度五つのボタンみん
なはずして (長野市) 北沢 京子
半月がドフえもんポケットに見えるよかつた明
るい夜だ (松本市) 堀内 悠子
私にも子らにも過ぎしよき日あり這い這い終わり
立ちたその日 (長野市) 西村満知子
数羽から離れ舞ひ行く蝶のあり独りの好きな人の
ごこくに (飯綱町) 坂井 寿男
数多咲く晩秋の花三種類ひとつも名前思い出せな
い (長野市) 宮崎 雄
寝過ぎしのバツの悪さを身にまといどこか安堵の
乗り越し仲間 (長野市) 丸山 祐司
草むしり二十分して休憩にカフェエテを飲む吾貴
族なり (坂城町) 柄沢 満則
背のボタンはめる夫なき今もまた洋服ダンスにし
ースのブラウス (長野市) 島田 怜子
眠れぬ夜きみの言の葉訪ねきてその意を測りさら
に眠れず (箕輪町) 佐々木 安教

佳作
新薬をたつぷり舐き込む黒土にもう来年の作付け
浮かぶ (茅野市) 小松八重子
短調のピアノ曲聴いているよさな霜月の雨降り
続く午後 (佐久市) 高橋衣里子

第一首、期待されていた答えは水だっ
たはず。明朗な「春です」の答えそのも
ののような友との別れ。第二首、すがすが
しい下句が卓抜。秋の終わりの澄んだ
青空に心もまた放たれてゆく。第三首、
四句の句割れのリズムが楽しい。この半
月にも、夢や未来が詰まっているといい。
第四首、人生で一度きりの「よき日」。
「その日」がかつて私を喜ばせ、やがて
親になった子らを喜ばせた。

米川 千嘉子選

皮も食べシャインマスカット種もなしアインシユ
タインの舌出した顔 (中野市) 増田きみ江
「お帰り」と駐車時間を数へるし翁にかはりて前
をぶさぐ棒 (長野市) 原田 浩生
曾孫抱けばぼったり重く温かしたて三升の餅
のごと (千曲市) 倉石みつる
畑に汗ながした日々懐かし妻が飯よぶ蕎麦食
う仕草 (豊丘村) はやしのもりんと
幼子の手首に巻かれしサンガは戦時下ゆえの目
印という (坂城町) 西沢ひろ子
読めど詠めどあれからすべて反戦歌また冬が来て
しまったじゃないか (松本市) 美甘 歆
「なぜ食べんのう食べなきやうちへ帰れんに」看
護助手の言葉に凍る病室(駒ヶ根市) 塩沢 春子
猫背増え視力も落ちてトランプが増え続いても頼
るはスマホ (松本市) 中村 博穂
もつ猫母が恋しく「ごころともういしタオルに
顔埋めおり (東御市) 増田 栄子
正解のない命題に風吹けばコスモス揺れてう
んううんうん (長野市) 堀内 祐希

佳作
傷つきし羽根に舞い来し豹紋蝶わが知らぬ間の戦
いありや (麻績村) 塚原ぶし子
図書館の庭に落ち葉が一袋詰まれる見れば息する
ごとし (千曲市) 関 津和子

第一首、食べ終えて皮も種も残らない
流行のブドウの不思議。アインシュタイ
ンにいたずらされたような、下句のユー
モアが楽しい。第二首、有料駐車場に管
理人さんはおらず、機械が管理している
現在を描く。管理人さんの一言の温かさを
思い出した。第三首、少し年をとって、
孫を抱いた重みとも違うのだろう。例え
がいい。第四首、遠くから作者を呼ぶ姿。
結句がユーモラスで懐かしい。

小池 光選

ひつそりと昭和の作家並びたる年に一度の古本祭
子の腕にその子の名前を記さねばならざる親のあ
たりこの世に (長野市) 宮沢 信博
長編の大河ドラマに出るよさに身仕度をして妻田
掛け行く (上田市) 松橋 敏生
心臓の雑言気になる九十歳空を見上げる歌が広が
る (千曲市) 倉石みつる
土竜の子き庭の隅で死にぬたり親にはぐれて迷ひ
しものか (飯綱町) 坂井 寿男
訃報欄にその名ありけりありありと小柄でやさし
き昔の友の (長野市) 西村満知子
弟の肩を抱きよせ帰れゆく下校の子らは夕日の道
を (上田市) 甲田 隆登
画面には瓦礫の中で泣く子供あつてはならぬあつ
てはならぬ (東御市) 関 啓
あの青い空の向こうに暗黒の宙が広がると思え
ない (松川村) 岡 豊村
見てる間に刻々表情かえながら花野になりぬ秋の
夕空 (長野市) 島田 怜子

佳作
幼等は摘みたる一位の赤い実を小さい秋とかかけ
歌いし (佐久市) 三石 俊司
物乞いに「おあがりなんしょ」居間に上げ「きな
こむすび」を与えし祖母は (伊那市) 竹松 主裕

第一首、街頭に古本ならべて人を呼ぶ。
古本祭りというイベントはなかなか味の
あるものだ。つい足を止めたくなる。い
かにも昭和の匂いがする。第二首、気が
付けばいろいろなところで戦争が。その
現実とは絶えずさまじい。絶句して見つ
めるよりない。そのひとこまの歌。第三
首、比喩がおもしろい。どういふスタイル
が見当たらないが、とにかくおしゃれ
して行ったわけである。

